

ショウティックかわら版

昭和電工株式会社喜多方事業所
昭和電工喜多方アルミ株式会社
発行日：2019年3月29日
第36号

喜多方事業所より

平素より当社の事業活動に対しましてご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

2018年は昭和電工グループ全体では複数の事業において市況好況の恩恵を享受したこともあり、2年連続で最高益を更新するなど、好調な年となりました。

一方で、当事業所の事業においては、欧州での自動車燃費規制などの影響を受け、収益的に満足できるものではありませんでした。技術力を一層磨き、コストダウンを着実に進めることで、喜多方での事業を発展させていきたいと考えています。

昭和電工グループは、今年から新しい中期経営計画をスタートさせました。新中期経営計画では、「こころ」を動かす製品やサービスを「社会」を動かすソリューションを提供することを明確化し、コーポレートメッセージを「動かす」に刷新しました。

「動かす」をキーワードにすべてのステークホルダーにご満足いただける企業へ向けての取り組みを一層進めてまいります。



さて、「ショウティックかわら版36号」をお届けします。ご高覧いただき、当社の理解の一助になれば幸いです。



喜多方事業所正面看板



喜多方事業所本事務所



高校生取材による『会津の企業魅力発見ノート』 の取材を受けました

昭和電工喜多方アルミ(株)では、昨年12月25日に福島県会津地方振興局主催『高校生取材による会津の企業魅力発見ノート』の取材を受けました。
『会津の企業魅力発見ノート』は会津地域の高校生をはじめとする若い方々に、地元企業・地元就職の魅力を知っていただく目的で、会津地域の高校生が、企業の役員や先輩社員に直接インタビューした内容等を紹介しているものです。

当日は会津地域の高校生及び主催者である会津地方振興局の方々が来場され工場見学を行った後、中川総務部長及び若手社員2名へのインタビューが行われ、会津地域出身の社員へ「地元で就職してよかったと思うことはなんですか？」といった本取材ならではの質問がありました。

今回の取材内容は「高校生取材による会津の企業魅力紹介」ページに後日掲載されますので、是非チェックしてみてください。
↓下記QRコードから確認いただけます。



工場見学の様子



取材風景

東日本大震災から8年

2011年3月11日に発生した東日本大震災から8年が経過しました。

当事業所では地震発生の14時46分に、犠牲になられた方々を悼んで、従業員が黙祷を捧げました。



黙祷の様子



「福島・会津マルシェ」
東京本社にて

昭和電工グループでは、会津若松市役所と喜多方市役所の協力のもと、福島県産の食品（野菜、果物、清酒等）を販売する「福島・会津マルシェ」を本社にて毎年開催するなどして、復興支援を続けております。

発行元: 昭和電工(株)喜多方事業所(総務課)
お問合せ先: 福島県喜多方市字長内7840
電話: 0241-22-1261

